

# 山形代代相传的基本思想

## 山形の基底に流れ、受け継がれる思想



▲ 上杉 鷹山  
(1751年~1822年)  
米沢藩第9代藩主  
上杉鷹山(ようざん)  
米沢藩第9代藩主

### 传世箴言

- 一、国家是由祖先传给子孙的，因此我们不可以将国家据为己有；
- 一、人民是属于国家的，因此我们不可以将人民据为己有；
- 一、我们是为国家和人民而存在的，因此国家和人民不是为我们而存在。

### 伝国之辞(でんこくのじ)

- 一、国家は先祖より子孫へ伝え候国家にして我私すべき物にはこれ無く候
- 一、人民は国家に属したる人民にして我私すべき物にはこれ無く候
- 一、国家人民の為に立てる君にて君の為に立たる国家人民にはこれ無く候

山形県の南部有一个叫做米泽的地方。

追溯到230年前，这里出现了一位因藩政改革而闻名的藩主—上杉鷹山。

他确定的改革目标，不仅仅单纯为了消减财政赤字，还希望在爱护、信赖藩民的基础上建设一个和善、温馨的社会。

他在35岁退位时提出三条训词，之后被米泽的历任藩主继承下来，成为了传世箴言。训词的内容为“国家是由祖先传给子孙的，因此我们不可以将国家据为己有；人民是属于国家的，因此我们不可以将人民据为己有；我们是为国家和人民而存在的，因此国家和人民不是为我们而存在。”表达出了他的民主主义基本思想。

时值美国独立宣言发表9年后，法国人权宣言发表4年前。

1961年，约翰·F·肯尼迪就任美国第35任总统，当时日本记者向他提问道“您最尊敬的日本政治家是哪位？”，肯尼迪的回答是“上杉鷹山”。

大概是读过内村鑑三翻译成英文的“传世箴言”吧，对于一个东洋小国当时竟会形成现代民主主义的最初思想感到惊讶的同时，尊敬之情也油然而生，因此将上杉鷹山的名字深深印刻在了内心深处吧。

山形県の南端部に米沢というところがあります。

遡ること230年ほど前、ここには藩政改革で有名な上杉鷹山という名君がいました。

鷹山の改革は、単に財政赤字の削減だけではなく、領民への「愛と信頼」に基づき、「やさしさと思いやりに満ちた地域づくり」に目標を置いていました。

鷹山が35歳で家督を譲る際に贈った3カ条、後に米沢藩主交代の都度引継がれた「伝国之辞」を紹介します。

ここには、「国家は先祖から子孫に伝えるものであって、自分で勝手にしてはならない」「人民は国家に属しているものであって、自分で勝手にしてはならない」「国家と人民のために君主はいるのであって、君主のために国家や人民があるのではない」といった、民主主義の基本原則とも言うべき考え方が示されています。

伝国之辞がつくられた1785年は、実にアメリカ独立宣言の9年後、フランス人権宣言の4年前です。

このような考えは、後の日本の近代化を担った思想家、政治家に大きな影響を与えたとのこと。

1961年、第35代米国大統領に就任したジョン・F・ケネディは、日本人記者団に「あなたが日本で最も尊敬する政治家はだれですか」と尋ねられ、「上杉鷹山です」と答えたと言われています。

おそらく、内村鑑三の英訳した「伝国之辞」を読み、アジアの小国で現代につながる民主主義の源流が形づくられたことを驚きとともに、尊敬の念をもって心の奥に深く刻んだのではないかと考えられています。